

高西地区 からこんにちは 今月の気になる人

興津支所管内より

女性部活動 頑張ってます

(左) 吉本 きよみさん (66)
(右) 竹添 光子さん (66)



今年の4月から興津地区女性部の部長・副部長として活躍するお2人。ミョウガ作業の合間に孫たちと遊ぶことが、一番の息抜きで趣味だそうです。

「任期の2年間、他の役員や部員の方々と協力して年間行事をスムーズに行っていけるよう頑張りたいと思います！」

梶原支所管内より

夢に向かって邁進中！

またがわ ゆうき
又川 優貴さん (33)



梶原町仲洞で土佐甘とう17アールを栽培する又川優貴さん。農業の傍ら、冬場には酒造会社でお酒造りにも携わっています。

今後の目標を伺うと「マイホームを購入することが1番の夢！ ゆくゆくは専業農家として現在以上の経営規模にしたいです」と、やる気満ちた笑顔で語ってくれました。今年も暑さに負けず全力で甘とう栽培に励んでいます。

四万十支所管内より

ハウスでの作業は暑さとの戦いです

いよき まさる
伊与木 勝さん (34)



ニラ43アール、水稻30アールを栽培する伊与木さん。ご両親、パートさんとそぐり作業中に撮影させていただきました。9月になっても湿度も気温も高いハウス内の作業は大変とのことですが、暑さに負けないよう気を付けているそうです。

結婚70周年 仲良し夫婦

(右) 小野 新吉さん (95)
(左) 重美さん (90)

大野見支所管内より



お2人は、新吉さん25歳、重美さん20歳の時に結婚し、今年70周年を迎えられたおしどり夫婦です。

毎日の日課は、午前中はお二人でコーヒーを飲みに出かけ、午後からは畑で季節の野菜の世話をすること。たくさんできた野菜を食べてもらい、喜んでもらうことが楽しみだそうです。これからもますますお元気で、いつまでも仲良く頑張って下さい。

家族に感謝！

むらた きぬえ
村田 衣重さん (52)

東津野支所より



津野町北川でご家族と一緒にミョウガ11アール、お茶222アール、水稻60アールを栽培している村田さん。お茶採りが終わるとすぐにミョウガ採りと、忙しい毎日です。農作業はとにかく体が一番ということもあり『健康に産んでくれた両親に感謝です』と、語ってくれました。

佐川町と須崎市にいるお孫さん達が、時々遊びに来てくれるのが何よりの楽しみと優しく微笑んでくれました。

5 四万十地域

生姜部会AD巡回



ほ場を視察する営農アドバイザー

生姜部会は7月24日、25日にかけてアドバイザー巡回を行いました。生育状況及び病害発生の有無の確認を行うだけでなく、土寄せやネット張り方などの細かな栽培管理について、営農アドバイザーが生産者へアドバイスをしました。生産者からは「普段疑問に思っていることなどを質問できる良い機会」と好評で、栽培技術の向上につながります。次回のアドバイザー巡回は9月中旬を予定しています。

6 津野山地域

売り込め！米ナス



試食販売の様子

津野山営農経済センターは7月27日、石川県金沢市のサカイダフルーツ八百八青果名鉄エムザ店で試食販売による米ナスのPRを行いました。米ナスは肉厚で食感も良く、油との相性が抜群で、店舗では「米ナスのピザ」を提供したところ「柔らかくて食べやすい」と好評で、多くの来店者に購入していただきました。北陸の消費者に津野山の米ナスを売り込む機会ができました。今後も消費拡大に力を入れ農家の所得向上に貢献していきます。

3 四万十地域

あぐりスクール 木工に挑戦



みんな真剣！リズムよく金槌の音が響きました。

7月6日に行われたあぐりスクールでは、四万十町森林組合大正集成材工場でマガジンラックと本棚作りに挑戦しました。工場ではヒノキやスギの板を床板や壁板、家具など様々なものに加工する施設を見学し、子供たちは興味津々の様子でした。木材を組み立て釘を一本一本打ちこむなど難しい作業もありましたが、丁寧にヤスリをかけてそれぞれが世界に一つの本棚を完成させることが出来ました。

4 津野山地域

シシトウ栽培交流会を初開催



互いの技術を確かめ合います

7月11日、津野山シシトウ部会と四万十シシトウ研究会は交流会を開催しました。四万十管内の生産農家3戸を巡回し栽培方法や生育状況を確認しました。シシトウ生産者の交流会は今回が初めてであり、JJAの合併メリットを活かした活動となりました。この交流会は意欲の高い生産者からの要望により実現しており、今後も交流を深めながら篤農家の技術や知識を地区内で共有することで更なる栽培技術の向上に繋がっていきます。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

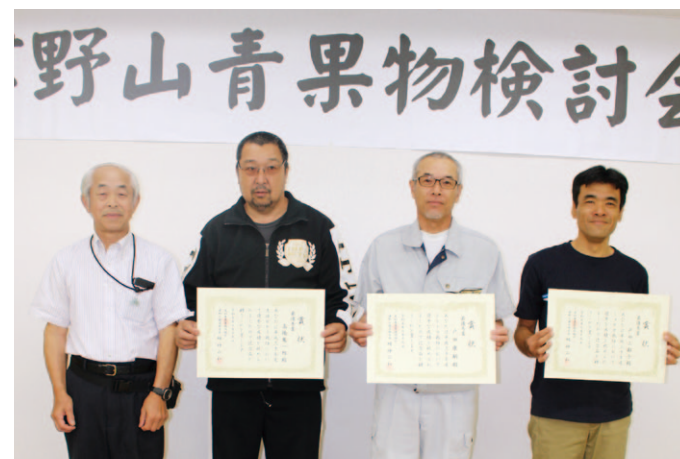


大人気の流しそうめん

1 四万十地域

四万十を満喫
うまいもん体験団

7月28日、第2回目の農業体験イベント「うまいもん体験団」が開催され、夏休みということもあり親子連れなど80名が参加しました。四万十町の農業と自然に親しんでもらおうと毎年企画されており、参加者は四国デュロックファームの佐竹宣昭さんの指導のもと、バーベキュー用のウインナー作りに挑戦しました。専用の器具を使い少しずつ慎重に肉詰めをしていくなど難しいところもありましたが、家族や友人同士で協力しあひながら作業を楽しんでいました。また、5月に植え付けた枝豆の収穫や稲の生育観察を行いました。枝豆は少し実が小さかったものの数多く収穫でき、稲は出穂までもう少しと順調な生長で、秋の収穫祭にも期待が持てました。最後には四万十川沿いの三堰キャンプ場で川遊びとバーベキューを楽しんでもらい、流しそうめんや町産の仁井田米のおにぎりなどに好評をいただきました。



最優秀賞を受賞した生産者

2 津野山地域

優秀生産者5人を表彰
青果物販売検討会

津野山営農経済センターは7月19日、青果物販売検討会を開催し、生産者やJA関係者、全国4市場の担当者ら50人が参加しました。平成30年度の優秀生産者として、中越親一さん（米ナス）・上岡修さん（小ナス）・戸田康嗣さん（シシトウ）・戸田三都子さん（ミョウガ）・高橋亀一郎さん（土佐甘とう）ら5人を園芸部の明神正和部長が表彰しました。意見交換会では、JA高知県が情勢報告や今後の見込みを報告し、生産者らは市場担当者から国産の重要性と販売方式の変化などを直に聞くことで、消費者ニーズなどの共有を図りました。また、生産農家の高齢化が進み、70歳以上が全体の31%を占めている現状も説明し、若手新規就農者の確保が課題であることを訴えました。津野山営農経済センターはこの検討会で得た情報をもとに、販売促進に力を入れ、農家の所得向上に向けた取り組みを展開していきます。

津野山地域より

生産者募集

津野山地域で シントウ栽培しませんか？

津野山地域の特徴

津野山地域は、高知県の梶原町と旧東津野村（現在の津野町の西半分）をあわせた地域で、四万十川源流の澄んだ水と、四国カルストの麓・豊かな自然環境のもと、園芸作物では主に米ナス、小ナス、シントウ、土佐甘とう、ミョウガなどを栽培しています。今回は露地での栽培が可能な夏秋シントウ栽培についてご紹介します。興味のある方は気軽にご相談ください。

【栽培スケジュール】

作目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
シントウ	定植	誘引作業	防除 栽培管理作業（誘引・切り返し・追肥等） 収穫 荷造り作業						栽培終了 片付け	土作り 資材投入	圃場準備	

【1本あたり生産収支の例】

収量	kg単価	売上	経費（約30%）	精算額（所得率 約70%）
8kg	1,200円	9,600円	2,800円	6,800円

※この経営収支は津野山地域のモデルとして示したものであり、この収量や所得を保証するものではありません。

初めてシントウを栽培する方は1人あたり100本程度がおすすめです。
津野山管内では農家による個別選果と
JAが行う共同選果（※旧津野山管内の農家のみ）があります。
それぞれ自分の経営規模に応じて選択することができます。
興味のある方は下記の連絡先までお気軽にご相談ください。



©園芸こうち販売促進事業実行委員会・やなせたかし

一問い合わせ先ー 津野山営農経済センター 営農指導課
高知県高岡郡津野町北川2281-4 TEL (0889) 62-2335 FAX (0889) 62-2381



四万十地域より

水稻生産者の皆様へ

令和元年産 米穀買取契約書の提出は お済みですか

6月の総外務で配布いたしました、「令和元年産 米穀買取契約書」の提出期限が過ぎています。
カントリーエレベーターをご利用の方も、令和元年産米穀買取契約書が必要になりますので、未提出の方は早急に提出頂きますようお願い申し上げます。
尚、買取契約書を紛失された方は、提出場所に用紙を用意しておりますのでお問い合わせください。

◎提出場所

販売課（東大奈路）・営農経済センター
興津支所・志和事業所・大野見支所



◎注意事項

※JA高知県の発足に伴い、買取契約書（主食うるち米売渡委託契約書・米穀買取契約書・個別出荷契約書）については、3部すべて提出していただく必要があります。

※買取契約書は複写になっていますので、ご記入の際にはご注意ください。

※提出については、契約書のJA控のみ（2枚複写紙の1枚目）で構いません。
生産者控については大切に保管をお願いします。

◎お問い合わせ

JA高知県高西地区
四万十営農経済センター 販売課 TEL (0880) 22-3586
(担当：坂本)



ようこそ JA 教室へ!

「女性大学ときめき学園」 新たな仲間づくりへ

安芸地区

管内の女性なら誰でも参加できる「ときめき学園」。“女性部に若い仲間が入ってほしい”という女性部安芸地区の想いから、ものづくりや料理教室などを通して、世代間交流を深めています。参加者は20～70代。これをきっかけに女性部へ加入した方もいます。

今年度も、ハーバリウム教室やエコバック作り、ミニ皿鉢料理作りなど、充実のカリキュラム。秋には、徳島県へ直販所視察や阿波人形浄瑠璃見学など、日帰り旅行も計画しています。今年はどんなワクワクに出合えるかな？

カリキュラム

- | | | |
|-----|--------|-----------------------|
| 第1回 | 6月8日 | ハーバリウム教室 |
| 第2回 | 7月27日 | 味噌造り |
| 第3回 | 8月17日 | エコバック作り |
| 第4回 | 9月21日 | バランスボール教室 |
| 第5回 | 10月26日 | 徳島県あいさい広場視察・阿波人形浄瑠璃見学 |
| 第6回 | 11月30日 | キャンドル作り |
| 第7回 | 12月21日 | フラワーアレンジメント |
| 第8回 | 1月11日 | ミニ皿鉢料理作り |



部員が講師を務め、カラフルでおしゃれなエコバック作り。みんな上手！



イタタ！ツツイ！と、にぎやかなバランスボール教室



ハーバリウム作りの講師はフレッシュミズ部員



部員同士で教え合いながら制作



千両や菊を使って、お正月飾りのフラワーアレンジメントが完成



花屋さんを講師に、本格的なアレンジに挑戦



キャンドル作りには子どもたちも夢中♪

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

女手のつに守る夏畑

夏のれん老の暮らしの静かなり

武政礼子

岩の間に勢ひ落つる滝の帯

市川和美

子の許へ端去り行く萩の風

今橋孝子

逝きし子の半世紀過ぐ半夏生

梳く髪の主に逆らふ梅雨湿り

田中信子

廃校のプールしずかに波立ちて

峡の里水田にせまる梅雨出水

玉川治美

天狗岳畏れ仰ぐや稲光

霊峰の濃霧に消へて行く速さ

黒岩 やよえ

サザエさん一家と同じ七羽なり半日窓に見えある小鷲

椎の花もくもくもくと盛り上がる山をしり目に高速走る

中内 佐登美

まろりと我が飼い猫は眠りたり光さし込む窓辺に寄りて

文野 美恵子

佳きしらせ告げるがごとく窓の外に金の吐息のほたる一匹

島岡 紀美

角を曲がれば夕日まぶしき道端にたじろぎもせず紅きしやくやく

岡村 香代子

夕虹を愛であい鳴くかホトトギス向かいの山と後ろの山に

市川 隆子

土佐湾に小さき岬つらなりて遠き足摺縹にかすむ

市川 浩子

ミュージカルの出演者たちの見送りに駆けよって言う「イモさん握手」

北村 さちこ

公園に行きつ戻りつ梅雨晴間

梅雨空や日腰痛に悩まざる

竹内春猪

西の山かかる白雲新茶くむ

大手門くぐる光の夏つばめ

西宮正衛

静けさの時には淋し青葉木菟

ひとり飲む茶に茶柱や沙羅の花

西森美好

山家まだ眠りを解かず花樽

急げ癖払ひ木陰のストレッツ

長谷部延子

日の新樹雨の新樹と色重ね

声のなき里の真昼を河鹿鳴く

渡辺小梅

短歌

雨あがり青田に光る風の波

(津野町・村田三喜子)

俳句

雨続き気分転換模様替え

(四万十町・矢野茂美)

農家食堂

集落ごとに自慢の郷土料理があり、様々なイベントで大きな役割を持ってました。この大事な文化はずっと継承してほしいと考えます。

(椿原町・80歳・女性)

おたよりから

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

椿原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所 0880-25-0002

東津野支所 0889-62-2211

大野見支所 0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141